令和６年度　南信州広域連合自立支援協議会権利擁護部会活動報告

１　令和６年度の活動目標

障がい者の権利擁護の法律が施行されているが、地域の中で理解を深めるため、基本的な権利擁護についての研修や身近な事例を通した学習を進める。また県自立支援協議会、南信州広域連合地域自立支援協議会の各部会と連携を図り、圏域全体の権利擁護意識の向上に努める。

２　部会の開催日程及び取組内容

年４回（概ね偶数月の第２金曜日午後１時30分から午後３時00分　さんとぴあ第２講習室）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催月日 | 参加者 | 内容等 |
| ４月12日（金） | 三役 | 三役会議にて令和６年度の方針検討 |
| 第１回６月14日（金） | 46名 | 障がい者権利擁護研修会　「虐待防止法と支援者の役割・取り組みについて」講師　飯田保健福祉事務所福祉第二係長　湯澤　ゆかり　氏喬木悠生寮主任相談支援専門員　　勝又　小百合　氏Zoomでのオンライン開催 |
| 第２回８月23日（金） | 33名 | 障がい者差別解消に関わる研修「障がいのある人もない人も共に生きる社会」を目指して講師　県健康福祉部障がい者支援課共生社会推進係共生社会づくり推進委員　馬場　美保　氏 |
| 第３回10月11日（金） | 24名 | 成年後見支援に関わる研修講師　いいだ成年後見センターセンター長　宇佐美　千尋　氏 |
| 第４回12月13日（金） | 16名 | 虐待防止事例検討・飯田市の過去３年間の概況報告・あゆみGHより事例提供を受け、発生要因や対応、再発防止策についてグループワーク実施。 |
| ２月14日（金） | 三役 | 三役会議にて令和６年度のまとめ |

３　活動成果

・今年度は、県出前講座を活用し、障がい者差別解消・合理的配慮についてのポイントを分かり易く説明して頂き、好評であった。また新たな取り組みとして、研修事前アンケートを実施し、アンケートを反映した研修を行い、参加者の研修内容への理解を深めることが出来た。

・権利擁護基礎研修では日頃から支援方法の振り返り、職員間のコミュニケーションが大切であること、風通しの良い職場環境づくりの必要性があげられた。

・県出前講座では、不当な差別的取り扱いや合理的配慮の提供について、具体的事例を踏まえての講演だったので、非常に分かり易く、今後も継続して開講して頂きたいとの感想が多かった。

・成年後見支援センターの事例提供による研修では、成年後見制度の変遷、成年後見支援センターの概要、成年後見制度の種類・役割を講演して頂いた。センター側の視点でのケース紹介は、とても良い勉強になった。後見人制度の基礎的なこと、仕組みを教えて頂き良かった。職務上、保佐人や後見人の代理手続きを受ける事があるので、詳しく学べて良かったと感想が寄せられた。

・虐待防止事例検討では、職員の知識を深め、意識付けする為にも、研修会をすることが大切なことだと改めて感じた。マニュアルの見直しや職員間での情報共有をし、風通しの良い職場にしたい。研修を職場にフィードバックして職員の意識を高めてていきたいと感想あり。

・今後も、協議会の研修に参加された方々が、各事業所に持ち帰り、伝達研修を通して、各事業所職員の意識向上に繋げて頂きたい。

４　次年度に向けて検討すべき課題等

今年度も皆様から、多数ご意見、要望を受けたため、来年度はそれらを参考に、研修を中心に企画し活動する。